
第35回全国高等専門学校 プログラミングコンテスト 本選実施要項(参加要項)

この要項は、本選実施に関する重要なものです。本選に出席される関係者に至急お渡しください。

課題部門・自由部門・競技部門については9月9日(月)17:00締切及び10月11日(金)17:00締切で提出いただきたい書類等がありますので、内容のすべてに必ず目を通してください。

また、本選時にはこの資料を必ず手元に置いてください。

第35回全国高等専門学校プログラミングコンテスト実行委員会

第35回全国高等専門学校プログラミングコンテスト

本選実施要項(参加要項)

この要項は、本選実施に関する重要なものです。本選に出席される関係者に至急お渡ししてください。..... 1

1. 大会全般についての連絡事項(各部門共通).....	1
1.1 主催・共催・後援・協賛・役員.....	1
1.2 参加者.....	1
1.3 審査委員.....	2
1.4 会場案内.....	3
1.5 日程.....	4
1.6 提出書類等.....	5
[1] 9月9日(月)17:00 締切分.....	5
[2] 10月11日(金)17:00 締切分.....	5
1.7 知的財産権の侵害について.....	7
1.8 著作物等の扱いについて.....	8
1.9 表彰について.....	8
1.10 参加登録および昼食の予約について.....	9
1.11 名刺クエストについて.....	9
1.12 学生交流会.....	9
1.13 情報交換会.....	9
1.14 会場使用上の注意点について.....	9
1.15 その他の注意事項.....	9
1.16 問い合わせ先.....	10
2. 課題・自由部門についての連絡事項.....	11
2.1 システムの搬入・搬出について.....	11
2.2 プレゼンテーションについて.....	11
2.3 デモンストレーションについて.....	12
2.4 本選審査手順について.....	14
3. 競技部門についての連絡事項.....	16
3.1 試合の実施.....	16
3.2 予行演習.....	16
3.3 競技部門の賞.....	16
3.4 注意事項.....	16

付録1 会場案内図

付録2 交通案内図

付録3 課題部門 プレゼンテーション審査タイムテーブル

付録4 自由部門 プレゼンテーション審査タイムテーブル

付録5 ブースの概略寸法

付録6 デモンストレーション審査, マニュアル審査タイムテーブル

付録7 競技部門の組合せ

別紙資料1 課題・自由・競技部門 同意書

別紙資料2 課題・自由部門 パンフレット執筆要項

別紙資料3 課題・自由部門 プログラムソースリスト表紙例

別紙資料4 課題・自由部門 操作マニュアル表紙例

別紙資料5 課題・自由部門 チェックリスト

別紙資料6 競技部門 パンフレット執筆要項

別紙資料7 競技部門 プログラムソースリスト表紙例

- 別紙資料 8 競技部門 システム詳細説明書
- 別紙資料 9 競技部門 システム等の調書
- 別紙資料 10 競技部門 チェックリスト
- 別紙資料 11 名刺クエスト実施のご案内

1. 大会全般についての連絡事項(各部門共通)

1.1 主催・共催・後援・協賛・役員

主 催 一般社団法人 全国高等専門学校連合会

共 催 特定非営利活動法人 高専プロコン交流育成協会(NAPROCK)

後 援 文部科学省, 総務省, 経済産業省, 警察庁, デジタル庁, 奈良県, 奈良県教育委員会, 奈良市, 奈良市教育委員会, 大和郡山市, 大和郡山市教育委員会, 奈良県商工会連合会, 一般社団法人ソフトウェア協会, 一般社団法人情報処理学会, 一般社団法人電子情報通信学会, 一般社団法人教育システム情報学会, 国立研究開発法人情報通信研究機構, 一般社団法人デジタル地方創生推進機構, 一般社団法人人工知能学会, NPO 法人 IT ジュニア育成交流協会, 公益財団法人奈良県地域産業振興センター, 日本弁理士会関西会, NHK, 朝日新聞奈良総局, 毎日新聞奈良支局, 日刊工業新聞社, 奈良テレビ, 奈良新聞社, 奈良工業高等専門学校後援会, 奈良工業高等専門学校同窓会, 奈良工業高等専門学校地域イノベーションコンソーシアム

協 賛 アバナード(株), (株)NSD, (株)セゾンテクノロジー, (株)日立製作所, ピクシブ(株), チームラボ(株), (株)シーエーシー, (株)トヨタシステムズ, さくらインターネット(株), ネクストウェア(株), (株)FIXER, (株)ブロードリーフ, (株)jig.jp, (株)NTT データ フィナンシャルテクノロジー, (株)アイ・エス・ビー, LINE ヤフー(株), アドバンスドブランニング(株), (株)インフォコム西日本, (株)サイエンスアーツ, (合)DMM.com, (株)クレスコ, コスモリサーチ(株), (株)デンソー, (株)インフォコム東日本, (株)サイバーエージェント, KDDI アジャイル開発センター(株), (株)アクセスネット, (株)ビッツ, CompTIA 日本支局, NTT コム エンジニアリング(株), 国立研究開発法人理化学研究所 計算科学研究センター, (株)インテリジェント ウェイブ, (株)ワコム, アイフォーコム(株), 富士ソフト(株), アイ・システム(株), オープンテクノロジー(株), TDC ソフト(株), (株)タブチ, (株)クレスコ・ネクシオ, (有) ユニバーサル・シェル・プログラミング研究所, (株)CRI・ミドルウェア, (株)アイスタイル, (株)TOKIUM, (株)日本総合研究所, (株)朝日ネット, (株)オプティム

大会役員

大会会長 一般社団法人 全国高等専門学校連合会会長
大塚 友彦 (釧路工業高等専門学校長)

副会長 一般社団法人 全国高等専門学校連合会副会長
東 健司 (大阪公立大学工業高等専門学校長)

副会長 一般社団法人 全国高等専門学校連合会副会長
小島 知博 (サレジオ工業高等専門学校長)

副会長 一般社団法人 全国高等専門学校連合会副会長
上田 悦子 (鹿児島工業高等専門学校長)

1.2 参加者

予選において全国高専から選抜された作品の制作学生及び指導教員

- | | |
|----------|--------|
| (1) 課題部門 | 20 チーム |
| (2) 自由部門 | 20 チーム |
| (3) 競技部門 | 58 チーム |

NAPROCK 国際プログラミングコンテストに参加する海外チーム

海外チーム 7校 13 チーム

- ・課題部門：タイ高専 KMITL (タイ) 2 チーム
- ・課題部門：モンゴルコーセン技術カレッジ (モンゴル)
- ・自由部門：キングモンクット工科大学 (タイ) 2 チーム
- ・自由部門：新モンゴル高専 (モンゴル)
- ・自由部門：シンガポール・ポリテクニク (シンガポール)
- ・自由部門：タイ高専 KMITL (タイ)
- ・競技部門：香港 VTC (香港)
- ・競技部門：ハノイ国家大学 (ベトナム)
- ・競技部門：新モンゴル高専 (モンゴル)
- ・競技部門：モンゴルコーセン技術カレッジ (モンゴル)
- ・競技部門：タイ高専 KMITL (タイ)

1.3 審査委員

審査委員長

大場みち子 京都橘大学 工学部情報工学科 教授

審査副委員長

杉田 泰則 長岡技術科学大学 技学研究院 電気電子情報系 准教授

審査委員

綾塚 祐二 株式会社クレスコ 技術研究所 所長
荒川 弘毅 株式会社サイエンスアーツ 開発部
飯岡 あゆみ 株式会社インテリジェント ウェイブ
稲見 昌彦 東京大学 総長特任補佐・
先端科学技術研究センター副所長・教授
犬塚 正 株式会社トヨタシステムズ 事業企画推進部 部長
井上 美智子 奈良先端科学技術大学院大学 先端科学技術研究科 教授
今井 一範 アドバンスドプランニング株式会社 代表取締役
上原 隆平 北陸先端科学技術大学院大学 先端科学技術研究科
副学長・研究科長・教授
奥村 充男 株式会社デンソー 先端技能開発部モビリティ実験室 室長
加邊 徹 株式会社アイ・エス・ビー 管理本部
人事部 シニアマネージャー
香山 瑞恵 信州大学工学部 電子情報システム工学科 教授
北岡 教英 豊橋技術科学大学 情報・知能工学系 教授
木村 倫也 NTTコムエンジニアリング株式会社 サービスネットワーク部
サービスネットワーク部門 サービスフロントユニット 主査
久保 慎一 ネクストウェア株式会社
笹岡 賢二郎 一般社団法人 ソフトウェア協会 専務理事
舘山 北斗 株式会社サイバーエージェント 機械学習エンジニア
田中 務 株式会社インフォコム西日本 代表取締役社長
鳥越 直寿 株式会社インフォコム東日本 代表取締役社長
長谷川 泰 NHKメディア技術局 コンテンツテクノロジーセンター
デジタルソリューション 専任部長
道井 俊介 ピクシブ株式会社 執行役員 CTO
宮地 力 NPO法人 音楽の未来を探るスマレ協会 理事

矢野 完人 合同会社DMM.com
 動画配信事業部_配信基盤グループ_マネージャー
 吉田 育代 フリーランスライター
 鷺北 賢 さくらインターネット株式会社
 さくらインターネット研究所 所長

(五十音順, 敬称略, 予定)

1.4 会場案内

本選会場の主な施設名及び使用目的をお知らせします。

詳細な会場案内については付録1の会場案内図またはプロコン公式サイトをご覧ください。

1	開会式・閉会式, 競技部門会場	大ホール
2	課題部門デモ会場	中ホールホワイエ
3	自由部門デモ会場	中ホールホワイエ
4	課題部門プレゼン会場	中ホール
5	自由部門プレゼン会場	小ホール
6	審査委員控室	1F 楽屋1, 1F 楽屋2
7	競技部門担当学生控室	1F 主催者控室
8	主管校学生控室	大ホール上部観覧席
9	特別講演会場 (2日目のみ)	中ホール
10	企業展示	2F 大ホールエントランス
11	協賛企業控室	2F 会議室, 2F 楽屋2
12	来賓控室	1F 楽屋3, 楽屋6, 楽屋5
13	高専校長・高専機構本部・ NAPROCK控室	2F 応接室
14	報道控室	2F 中ホール楽屋5
15	救護室	1F 託児室
16	受付	エントランスホール
17	プロコン本部	(受付にて兼ねる)
18	プロコン委員控室	2F 中ホール楽屋1
19	主管校事務局	1F 客席事務室

1.5 日程

10月18日（金）参加者受付

17:00～18:00 なら 100 年会館エントランスホールで受付を行います。

（受付場所は、「付録1 会場案内図」をご覧ください。）

※ 各チームの引率教員および代表学生1名が受付し、名札、配布資料を受領してください。

※ 18日に受付できない高専は事前連絡の上、19日開場後直ちに受付を済ませてください

10月19日（土）

	課題・自由	競技
8:00	開場予定時刻 8:00	
8:30	参加者連絡会議 (中ホール)	参加者連絡会議 (大ホール)
9:00	システム搬入チェック (中ホールホワイエ)	
9:30	開会式 (大ホール)	
10:10	システムセッティング (中ホールホワイエ)	10:10～11:30 予行演習 (大ホール)
11:00	10:10～17:00 プレゼンテーション審査 (課題:中ホール)・(自由:小ホール) 10:30～17:00 デモンストレーション (中ホールホワイエ)	
11:30		
12:00		12:00～17:00 競技部門1日目 (大ホール)
16:00		
17:00		
17:30	17:30～19:00 学生交流会(大ホール), 情報交換会 (小ホール・小ホールホワイエ)	

10月20日（日）

	課題・自由	競技
8:00	開場予定時刻 8:00	
8:15	参加者連絡会議 (中ホール)	参加者連絡会議 (大ホール)
8:30	システムセッティング (中ホールホワイエ)	競技部門2日目 (大ホール)
9:00	デモンストレーション審査 マニュアル審査 (中ホールホワイエ)	
12:30	一般参加者への デモンストレーション	
14:15	14:15～14:45 特別講演(中ホール)	
15:00	15:00～16:30 閉会式(大ホール)	

1.6 提出書類等

[1] 9月9日(月)17:00 締切分

予選後にご案内しましたとおり、次の2種類の書類を、令和6年9月2日(月)8:30から9月9日(月)17:00までの期間に、proconapp.com から提出してください。各書類の提出に当たっては、チェックリストにより内容を確認し、不備のないようにしてください。

期限までに提出がなかった場合や規定外のものが提出されると失格となることがありますので十分に注意してください。また、締切後の書類の差替えなどは認めません。

(1) パンフレット原稿

課題・自由部門の本選出場チームについては、本選時に配付するパンフレットの中に、発表要旨を掲載いたします。また、競技部門の本選出場チームは、同パンフレットの中にシステム概要を掲載いたします。公式サイトに掲載されている本選概要の執筆要項及び見本を参考に原稿執筆の上、課題・自由部門の本選出場チームは「発表要旨」を、競技部門の本選出場チームは「システム概要」をそれぞれ提出してください。図や写真については、カラーで印刷されますので効果的に使用してください。パンフレットの印刷の都合上、わずかの遅れも許されませんので、よろしくお願ひします。なお、PDFファイルのファイルサイズは100MB以内とします。なお、当日は公式サイトで、パンフレット原稿を閲覧できるようにします。

(2) システム等の調書

課題・自由部門については、proconapp.com の入力フォームに従って登録してください。特に、課題・自由部門の会場の設営に必要な情報ですので、「ハードウェア構成」の欄に機種名・台数等ができるだけ詳しく記述してください。今大会ではデモンストレーション会場において、主催者側ではインターネット接続環境を準備しません。競技部門については、Excel ファイル(別紙資料 9)をproconapp.com にアップロードして下さい。また、競技部門ではシステム等の調書に記載されていない機材は、競技部門会場への持ち込みを制限することもあります。詳細については高専プロコン公式サイトでお知らせします。

[2] 10月11日(金)17:00 締切分

予選後にご案内しましたとおり、次の資料を、令和6年10月4日(金)8:30から10月11日(金)17:00までの期間に、proconapp.com から提出してください。

期限までに提出がなかった場合や規定外のものが提出されると失格となることがありますので十分に注意してください。また、締め切り後の書類及び動画の差替えなどは認めません。

【各部門共通】

(1) 著作物等の扱いに係わる同意書(各チーム1通)

- 「1.8 著作物等の扱いについて」に記載した内容(著作物等の利用に関する許諾)について、チームごとにPDF形式で提出してください。
- 同意書は、プロコン公式サイトからファイルをダウンロードしてご使用ください。
- 同意書には、登録されている指導教員及び学生全員が署名し提出してください。

(2) 緊急連絡先の登録

- proconapp.comの入力フォームに従って、引率教員と学生1名(代表学生)の連絡先(携帯電話の番号等)、宿泊先、宿泊日、総人数、借り上げバスの有無など(総人数、借り上げバスの有無についてはコメント欄に記載してください)をご登録ください。
- 登録された内容は第35回大会の緊急連絡にのみ使用し、大会終了後破棄します。

【課題・自由部門】

(1) プログラムソースリスト

- A4用紙(縦置き横書き)とし、PDFに変換したもの、またはGitHubリポジトリのURLを提出してください。
- PDFで提出する場合はプロコン公式サイトから指定の表紙をダウンロードし、必ず付け、部門名、発表順番号、登録番号(100もしくは200で始まる5桁の番号)、タイトル、学校名、学生名、指導教員名を明記してください。
- GitHubで提出する場合で、Privateリポジトリでの提出を希望する場合は、プロコン審査委員がソースコードを閲覧できるように、下記のプロコン審査委員用アカウントをCollaboratorsとして登録し、その招待用URLをproconapp.comに登録してください。
- プロコン審査委員用アカウント：kosenPcnReferee
- 本選では、提出されたPDFファイルまたはGitHubのリポジトリを審査委員が直接閲覧しますので、体裁を整えてください。
- PDFファイルのファイルサイズは100MB以内とします。

(2) 操作マニュアル

- A4用紙(縦置き横書き)とし、PDFに変換したものを提出してください。
- 起動から終了までのすべての手順を、わかりやすく記述してください。
- 指定の表紙を必ず付け、部門名、発表順番号、登録番号、タイトル、学校名を明記してください。
- ページ番号をつけてください。
- 操作マニュアルは、表紙を含め12ページ以内で作成してください。
- PDFファイルのファイルサイズは100MB以内とします。

(3) 作品紹介動画ファイル

- 作品紹介動画は3分程度とします。
- システムの特徴や有用性・制作上のポイントなどを紹介している動画としてください。発表者を含めた動画とする場合、服装と身だしなみは、学生に相応しい清楚・質素なものとしてください。
- 本動画ファイルは会場からのライブ配信等に使用するもので、審査結果には影響しません。
- 時間を超過する場合や不適切な表現が含まれる場合、再提出を求める、あるいは配信できないことがあります。
- アスペクト比は16:9とします。
- 音声有無についてはどちらでも対応可能です。
- 形式は、720p または 480p で、mp4 としてください。
- ファイルサイズは 100MB 以内とします。
- 上記の要件を満たすファイルを作成し、OS 付属のソフト(Windows 11 や Windows 10 なら「映画 & テレビ」アプリ、macOS なら「QuickTime Player」)で再生できることを確認のうえ提出してください。

【競技部門】

(1) プログラムソースリスト

- A4用紙(縦置き横書き)とし、PDFに変換したもの、またはGitHubリポジトリのURLを提出してください。

- PDFで提出する場合はプロコン公式サイトから指定の表紙をダウンロードし、必ず付け、部門名、登録番号(300で始まる5桁の番号)、チーム名、学校名、学生名、指導教員名を明記してください。
- GitHubで提出する場合で、Privateリポジトリでの提出を希望する場合は、プロコン審査委員がソースコードを閲覧できるように、下記のプロコン審査委員用アカウントをCollaboratorsとして登録し、その招待用URLをproconapp.comに登録してください。
 - ◇ プロコン審査委員用アカウント：kosenPcnReferee
- 本選では、提出されたPDFファイルまたはGitHubのリポジトリを審査委員が直接閲覧しますので、体裁を整えてください。
- PDFファイルのファイルサイズは100MB以内とします。

(2) システム詳細説明書

- システム詳細説明書は競技部門の審査に使用します。
- 様式に従いA4用紙1ページとし、PDFに変換したものを提出してください。
- プロコン公式サイトから所定の様式をダウンロードし、登録番号(300で始まる5桁の番号)、チーム名、高専名を記入してください。
- 問題解決へのアプローチ、システム構成、特徴などが審査委員にわかるように記述してください。
- PDFファイルのファイルサイズは100MB以内とします。

(3) チーム紹介動画の登録

- チームメンバーを紹介する15秒前後の動画提出をお願いします。
音声有りの動画としますが、本番では音声流れないこともありますので、その点に留意して作成してください。
- 本動画ファイルは会場からのライブ配信等に使用するもので、審査結果には影響しません。各チームの特徴などをアピールしてください。撮影後にPremiereやFinal Cut等で編集しても構いません。
- 時間を超過する場合や不適切な表現が含まれる場合、再提出を求める、あるいは配信・公開できないことがあります。
- アスペクト比は16:9とします。
- 音声有無についてはどちらでも対応可能です。
- 形式は、720p または 480p で、mp4 としてください。
- ファイルサイズは 100MB 以内とします。
- 上記の要件を満たすファイルを作成し、OS 付属のソフト(Windows 11 や Windows 10 なら「映画 & テレビ」アプリ、macOS なら「QuickTime Player」)で再生できることを確認のうえ提出してください。

1.7 知的財産権の侵害について

作品の制作及び発表にあたっては、知的財産権の侵害のないように十分にご注意ください。過去の事例では、

- キャラクタの無断利用
- 音楽・映像の無断利用
- 文献等からの無断転載

などがありました。制作にあたる学生は、知的財産権についての理解が不十分なことも多いと思われるので、指導教員はその点について十分にご指導くださいますようお願いいたします。

1.8 著作物等の扱いについて

提出していただいた資料，撮影した画像・映像等の著作物については以下のように扱いますので，あらかじめご了承ください。

- 応募時に提出していただいた書類(作品紹介，応募内容ファイル)，9月9日(月)17:00 締切で提出していただくパンフレット原稿(発表要旨，システム概要)，10月11日(金)17:00 締切で提出していただく資料等(ソースリスト，作品紹介動画，操作マニュアル，チーム紹介動画，システム詳細説明書)は，コンテスト終了後，プロコン公式サイト等で全部もしくは一部を公開する場合があります。
- 課題・自由部門のプレゼンテーション及びデモンストレーションの動画を高専の教材として使用する場合があります。
- 本選の様様・結果をインターネット経由で公開する予定です。
- 例年通り，記録ビデオを編集し，YouTube 等で配信するとともに高専プロコン公式サイト等で公開します。
- 本選期間中に撮影・使用された写真や動画類は，全国高等専門学校連合会や国立高等専門学校 機構の広報活動に使用されることがあります。

1.9 表彰について

閉会式では表彰が行われ，以下の各賞が授与されます。

課題部門	自由部門	競技部門
最優秀賞 文部科学大臣賞 情報処理学会若手奨励賞 電子情報通信学会若手奨励賞	最優秀賞 文部科学大臣賞 情報処理学会若手奨励賞 電子情報通信学会若手奨励賞	優勝 文部科学大臣賞 情報処理学会若手奨励賞 電子情報通信学会若手奨励賞
優秀賞	優秀賞	準優勝
		第三位
特別賞	特別賞	特別賞
敢闘賞	敢闘賞	

- 課題・自由部門全チーム及び競技部門入賞チームは，15時00分までに大ホールの指定座席に着席してください。
- 表彰の進行手順については閉会式の前に説明します。
- プロコンに多大な貢献をいただいている協賛企業から企業賞が贈呈されます。
- 本大会と同時に NAPROCK 国際プログラミングコンテスト (<https://www.naprock.jp/intprocon/>) を開催します。海外からの参加チームを含めて優秀なチームには，以下の各賞が授与されます。

課題部門	自由部門	競技部門
Themed section	Original section	Competition section
国際最優秀賞 Grand Prize	国際最優秀賞 Grand Prize	国際優勝 Champion
国際優秀賞 Second Prize	国際優秀賞 Second Prize	国際準優勝 First Runner-up Prize
国際特別賞 Special Prize	国際特別賞 Special Prize	国際特別賞 Special Prize

1.10 参加登録および昼食の予約について

昼食の弁当についての申込み締切は、8月31日(土)24時です。参加登録受付システム(<https://va.apollon.nta.co.jp/procon2024/>)にて申込みください。参加登録受付システムについては、予選後に送付した「参加登録・宿泊・お弁当・その他のご案内」に詳細な申込み方法が記載されておりますので、ご参照ください。なお、参加登録・昼食の事前申込みをしていないチームは速やかに登録してください。昼食等の申し込みが不要でも参加登録は必ず実施願います。

昼食 事前に予約された昼食は、学校毎に配付します。

昼食予約等に関する問い合わせ先

株式会社日本旅行 大阪法人営業統括部 コーポレート営業部
〒541-0051 大阪市中央区備後町 3-4-1 山口玄ビル 6 階
TEL : 06-6204-1812
E-mail:osaka_salesoffice@nta.co.jp
営業時間:平日 09:45~17:45 土日曜祝日休み
担当:第35回プログラミングコンテスト 受付デスク

1.11 名刺クエストについて

第35回奈良大会においても協賛企業と参加学生・教員の交流促進のため名刺クエストを実施いたします。さらに本年度も学生同士の名刺交換も実施します。企業と学生・教員間が名刺交換を行う「企業部門」と、学生同士が名刺交換を行う「学生部門」を設置し、交換した名刺の数を競います。企業部門と学生部門のそれぞれ上位10チームに賞品を進呈します。

1.12 学生交流会

参加者同士の交流を促進するため、以下のような企画の実施を予定しています。

10月19日(土) 17:30~19:00 学生交流会 大ホール
豪華賞品も用意しておりますので、是非参加ください。
詳細については、別途ご案内します。

1.13 情報交換会

引率教員と協賛企業の方々と交えた情報交換会を、以下のとおり実施を予定しています。

10月19日(土) 17:30~19:00 小ホール・小ホールホワイエ 情報交換会会場
参加費は無料です。引率教員・協賛企業の方々は参加をお願いします

1.14 会場使用上の注意点について

- 付録1に会場案内図を添付します。ご参照ください。
飲食は、会場内では厳禁です。大会期間中は会館入り口に飲食場所を設置予定です。
- ゴミは必ず持ち帰ってください。

1.15 その他の注意事項

- テレビ・新聞・雑誌等の取材を受けた場合は、明るく活発な高専のイメージが出るよう、ご協力をお願いします。

- 本コンテストは、協賛いただいた企業やプロコン委員の先生方、主管校の教職員や学生等、多くの方々からのご支援を受けて開催されています。学生諸君は、感謝の気持ちを忘れないようにしてください。
- 参加学生の服装と身だしなみは、学生に相応しい清楚・質素なものとしてください。
- 貴重品は、身に付けるなどして各自で管理してください。
- プレゼンテーション会場、デモンストレーション会場、競技部門会場、開・閉会式会場では、必ずスマートフォン等はマナーモード等の着信音の出ない状態に設定してください。

1.16 問い合わせ先

本選実施要項及び本選に関する問い合わせは、必ず指導教員を介して下記へお願いします。

【問い合わせ】

第35回全国高等専門学校プログラミングコンテスト事務局
〒639-1080 奈良県大和郡山市矢田町2-2 奈良工業高等専門学校
情報工学科 教授 山口 賢一 Tel: 0743-55-6135
学生課学生係長 澤田 彩 Tel: 0743-55-6034 Fax: 0743-55-6039
E-mail: jim35@procon.gr.jp

2. 課題・自由部門についての連絡事項

2.1 システムの搬入・搬出について

- <https://forms.office.com/Pages/ResponsePage.aspx?id=XYP-cpVeEkWK4KezivJfyNktTQnJvwJEtdCOSLYGt09UQ0pLUE9RMEFTTONVQTJVQURUQVFPSEJINyQ1QCNjPTEu%20> (下記 QR コード)より、搬送物品の個数について Microsoft Forms のアンケートに指導教員が回答して下さい。
- システムの搬送は、ヤマト運輸を利用し、10月18日(金)の16:00~18:00 になら100年会館に届くように手配して下さい。
- 各校からフリーダイヤル(0120-01-9625)へ連絡し、最寄のヤマト運輸支店と搬送物品や搬送方法について事前に打ち合わせを行ってください。
- システム搬送にあたっては、大会リーフレット送付時に同封する伝票を利用してください。不足する場合は、各チームで伝票をご用意いただき同じ宛先を記入してください。
- システム搬送中の破損事故を防止するため、ヤマト運輸支店担当者と十分に相談してから、発送してください。梱包は依頼者側で行い、全ての荷物の3面全てに梱包識別票を必ず貼付してください。(梱包識別票は、proconapp.com からダウンロードできます)
- 搬送物は、10月18日(金)の18時までに中ホール入口ブリッジに配送業者(ヤマト運輸)が直接搬入します。参加チームは、搬入された物品を10月19日(土)の参加者連絡会議終了後(概ね9:00)デモンストレーション会場に移動し、確認を行ってください。なお、10月18日(金)に開梱することは出来ません。
- 搬出については、10月20日(日)の13:30~15:00の間に梱包の上、大会リーフレット送付時に同封する着払いの返送用伝票と梱包識別票を貼付して、荷物受渡場所(中ホール入口ブリッジ)にて配送業者(ヤマト運輸)に引き渡してください。



2.2 プレゼンテーションについて

(1) プレゼンテーション審査の概要

- システムの特徴や有用性、制作上のポイントなどの口頭発表を審査します。
- 発表は一人で行うものとします。
- 1 テーマあたりの発表時間は8分とし、質疑応答を4分とします。
- 設置するプロジェクタで接続可能なコネクタは「HDMI」が使用可能です。なお、スクリーンは1面のみ利用可能です。
- 10月18日(金)夕方の受付時に接続確認を行うことができます。
- パソコン接続及び操作は、発表チームの学生が行ってください。

- プレゼンテーションツールを使用する場合はナレーションを入れることは認めません。必ず口頭で説明を行ってください。ただし、発表全体の構成上必要と思われる場合は、適切な効果音の使用は認めます。
 - 発表順序は主催者側で厳正に抽選した結果、8月14日(水)付でプロコンホームページに公開した予選通過テーマ一覧のようになりましたのでご了承ください。
- (2) 審査のタイムテーブル
- 付録3, 付録4にプレゼンテーション審査のタイムテーブルを掲載しました。あくまでも目安時間ですので、進行状況に留意の上、遅れないように準備してください。
- (3) プレゼンテーション審査についての注意事項
- 発表があるセッションが始まる前に、各発表者は会場で待機してください。また、担当者の指示に従ってパソコンを起動し、すぐに発表できる投影状態にして待機してください。
 - 司会者に名前を呼ばれたら、登壇してください。
 - 発表は8分、質疑応答は4分です。予鈴は6分で1鈴、8分で2鈴、12分で3鈴、終了です。発表の途中であっても、8分を過ぎた時点で発表を打ち切り、直ちに質疑に移りますので注意してください。
 - 審査委員の質問には、発表者だけが答えてください。
 - ノートパソコンの操作要員として補助学生をつけても構いません。

2.3 デモンストレーションについて

- (1) システム搬入チェック 【10月19日(土) 8:50~9:20】
- 搬入された荷物は中ホール入口ブリッジに置いてあります。
 - 荷物の個数の確認と、外形上の損傷の有無を確認してください。
 - 荷物を搬入物置場からデモンストレーション会場に移動して下さい。
- (2) システムセッティング 【10月19日(土) 10:10~10:30】
- ブースの配置と展示スペースの概略寸法は付録5を参照してください。
 - システムをセットする机の後ろには、掲示用パネルを用意します。このパネルにシステムの概要を示す概要説明図等を掲示してください。概要説明図の内容は自由ですが、システム名(タイトル名)を明示してください。なお、説明は一般の入場者にもわかりやすいように工夫してください。
 - 各作品は、机や発表者の椅子なども含めて幅180cm、奥行150cm、高さ210cmの範囲内にセッティングしてください。発表者もこの範囲内でデモを行ってください。なお、机は幅180cm、奥行は45cm(机1台)または45cm(机2台)です。標準は机2台としますが、システム等の調書で0~2台を選択することができ、椅子についても0~2脚を選択できます。
 - 掲示用パネルは幅180cm、高さ210cm(ただし、下70cmは机を設置した場合には見えなくなるので注意が必要)です。掲示用パネルへの資料の固定には双方マジックテープ式での固定することができます。セロハンテープおよび画鋲、ガムテープ等の粘着性の強いものは使用できません。ポスターなどの掲示に必要な物品・道具は主催者側では用意しません。必要に応じて各チームで用意してください。
 - システム搬入に使用した“段ボール箱など”は、机の下に置いてください。納めることができない場合には、大会スタッフの指示に従って、所定の置き場に整理・整頓して納めてください。なお、机の下に置く場合は来場者から見えないように工夫してください。白のテーブルクロスを主催者側で準備しますので、必要な場合は利用してください。
 - ブースあたり500Wの電源を用意します。1チーム500W程度に収まるよう、作品を工夫してください。消費電力過剰による停電等が起きた場合、全チームに迷惑をかける場合があります。500Wを明らかに超える場合は、バッテリー電源等、自家電源を用意してください。万が一停電等が原

因で、作品に異常が発生し、審査結果に影響を与えた場合でも、主催者側では責任が取れません。バッテリー駆動できないハードウェアがある場合は無停電電源装置を持参するなど、各チームで安全対策を取ってください。消費電力過剰が疑われるチームに対しては、運営側の判断で作品の電源投入を制限する場合があります。各ブースには、電源タップは1個口しかありません。必要に応じて別途電源タップを各チームで用意してください。

- システムセッティングのときに、システムの消費電力の計測を行う予定ですので、協力をお願いします。
 - 今大会では、各ブースへの有線によるインターネット接続は準備しません。インターネット接続を前提としたデモを行う場合には、念のため各チームで通信回線を準備してください。なお、通信回線を準備した場合でも、ブースの場所によっては通信が不安定になる可能性があります。そのため、インターネットへ接続ができなくてもサンプルデータ等で動作するよう準備しておいてください。
 - システムの最終調整とブース内の整理整頓を行い、システムの魅力が審査委員や来場者に伝わるようにしっかり準備してください。
- (3) デモンストレーション一般公開【10月19日(土)10:30~17:00, 10月20日(日)12:30~13:30】
- デモンストレーションは、学習や取り組みの成果を、学外の方々に公開する大きな意義があり、高専学生の熱気と創造性豊かなエネルギーを発表する場であることを十分に認識し実施してください。
 - 一般入場者にも、親切に分かりやすく説明してください。各テーマに精通した方や全くの素人の方の見学が予想されます。相手に応じた説明を心がけてください。
 - 一般公開は、プレゼンテーション審査、デモンストレーション審査及びマニュアル審査と並行して行います。
 - 各ブースでの審査時は、一般公開での説明などを中断してください。
 - 会場の各作品のブースには、説明者を常時2名以上配置してください。昼食などは交代で取り、説明者が不在としないようにしてください。
 - 学生間はもちろん、協賛企業様などとの情報交換を積極的に行ってください。
- (4) デモンストレーション審査【10月20日(日)9:00~12:30】
- 審査委員は、グループに分かれ巡回審査します。審査委員が審査に来られたら、システムを実行させ操作しながら説明してください。また、審査委員の質問にも答えてください。
 - 審査時間は、説明時間が2分、質疑応答が5分、計7分を原則としますが、審査委員の指示にしたがってデモンストレーションを進めてください。
 - 審査対象は課題・自由部門の全ての作品です。
 - デモンストレーション審査は一般公開と並行して行われますが、審査を優先してください。審査には運営責任者としてプロコン委員1名がつきます。
- (5) マニュアル審査【10月20日(日)9:00~12:30】
- 提出した操作マニュアルどおりにシステムが動くかどうかのチェックを行います。
 - 作品の審査時間は、移動を含めた7分間です。
 - マニュアル審査は1名で行います。審査には運営責任者としてプロコン委員1名がつきます。
 - 審査対象は課題・自由部門の全作品です。
 - マニュアル審査も一般公開と並行して行われますが、審査を優先とします
- デモンストレーション審査、マニュアル審査のタイムテーブル
- 付録6にデモンストレーション審査、マニュアル審査のタイムテーブルを掲載しました。あくまでも目安時間ですので、進行状況に留意してください。

(6) システムの搬出【10月20日(日)13:30~15:00】

- デモシステムを梱包し、返送伝票（着払い）および梱包識別票を貼付して、所定の場所に搬入してください。（搬出場所：中ホール入口ブリッジを予定）
- 梱包に必要な資材は参加者で準備してください。
- 搬出のための梱包が完了した時点で、搬送業者に引き渡してください。
- “ごみの持ち帰り”や“忘れ物”には特に注意してください。
- 使用したブースの“後片付け”と“清掃”を実施してください。
- “後片付け”と“清掃”が完了したら大会スタッフに連絡し、チェックを受けてください。

(7) 学生インタビュー【10月20日(日)閉会式終了後】

- 閉会式終了後に各部門の入賞者はインタビューを行いますので、インタビュー会場に集合してください。インタビュー会場に関しては、当日、司会より連絡します。

2.4 本選審査手順について

I. 各審査委員における評価

1. プレゼンテーション審査：A, B, Cの3段階評価をします。
独創性(最重点), システム開発の技術力(プログラムソースリストを含む), 記述力, 発表能力, 有用性等を総合して評価します。
2. デモンストレーション審査：A, B, Cの3段階評価をします。
独創性(最重点), 技術力, 有用性, 操作性, 発表能力, 発表掲示, 完成度等を総合して評価します。
3. マニュアル審査：正確性・記述力に関してそれぞれ5段階, 3段階の評価をします。
正確性： A マニュアルどおりに動作する。
B マニュアルどおりに動作するが, 説明を受けないと分かりにくい。
C 一部マニュアルどおりに動作しない。
D マニュアルどおりに動作しない状態が何箇所かある。
① E マニュアルとして不備が目立つ。
記述力： A, B, Cの3段階評価(わかりやすさなど)

II. 選考の流れ

1. 評価一覧表の作成
一覧表に, 各審査委員からの評価(A, B, C等)を入力します。
2. 点数換算集計表の作成
プレゼンテーション, デモンストレーションの審査評価は下記のように換算します。
A=6, B=3, C=1; 各部門, 審査委員の評価を合計します。
マニュアルの審査評価は下記のように換算します。
正確性に関しては, A=7, B=5, C=3, D=2, E=1
記述力に関しては, A=3, B=2, C=1
プレゼンテーション・デモンストレーション・マニュアルの評価を合計し総合得点とします。
3. 成績順位表の作成
総合得点の高い順にソートし, 順位を算出します。
4. 選考の順序
以下の順序に従い, 審査委員会で審議・合議の上, 判断します。

(i) 最優秀賞，優秀賞

得点のみの情報を提示し，上位ノミネートチーム数を決定します。審査委員ごとに，上位ノミネートチームについて順位を投票用紙に記入します。上位票における審査委員数の獲得数で文部科学大臣賞(最優秀賞)，優秀賞を決定します(新增沢方式)。

(ii) 特別賞

(i) 最優秀，優秀に選ばれなかったチームから，課題部門・自由部門とも4チーム以内で選考します。

(iii) 佳作

佳作に該当する作品があるかどうか，審議します。

※ 残りの作品は敢闘賞となります。

【参考】 新增沢式採点法 <https://ja.wikipedia.org/wiki/新增沢式採点法> (Wikipedia より)

3. 競技部門についての連絡事項

3.1 試合の実施

1 回戦 7 試合，敗者復活戦 4 試合，準決勝 4 試合，決勝 1 試合により行います。1 回戦は 10 月 19 日（土）に，敗者復活戦，準決勝，決勝は 10 月 20 日（日）に行います。

1 回戦の組み合わせは，コンピュータの擬似乱数により決定しました。決定した組み合わせは「付録 7 競技組み合わせ」の通りです。

3.2 予行演習

競技に先立って以下の通り予行演習を行います。全チーム参加してください。

日時： 10 月 19 日（土）10:10～

会場： 競技部門会場（大ホール）

予行演習は 1 試合 10 分程度での実施を予定しています。試合の流れを確認するための演習であり，試合終了までの流れを必ず確認してください。予行演習での制限時間は募集要項に示したものより，少なくなることがあります。

また，予行演習のスケジュール等は競技部門参加者連絡会議（10 月 19 日（土）8:30～，大ホール）で連絡します。全チーム必ず参加してください。

3.3 競技部門の賞

- 決勝での成績により，高専プロコン競技部門の優勝（文部科学大臣賞），準優勝，第 3 位を決定 します。
- 応募書類，提出書類及び競技内容から特別賞を 3 チーム以内で選考します。選考方法は競技の順位によらず，アイデア・技術力・完成度をパンフレットに記載されたシステム概要を含めて評価する ものです。

3.4 注意事項

- 競技ブースには，2 口以上の電源コンセントを準備します。必要があれば，各チームで電源タップ を用意してください。1 チーム当たり 500W 程度の利用を想定しています。容量を超えないよう注 意してください。
- 競技ネットワークに接続するために LAN ケーブルを各チーム 1 本用意する予定です。複数のコンピ ュータを競技ネットワークに接続する必要がある場合は，スイッチング HUB 等の機器を各チームで用意 してください。
- チーム待機場所には既設の 2 口のコンセントがあります。競技部門で使用する物品のみとし，各チ ャーム 500W 以内に納めてください。
- 競技部門で利用する機材等を搬送する場合は，宿泊先ホテルを宛先としてください。会場へ直接送 付しないでください。
- その他，今後の追加情報等については，随時プロコン公式サイトに掲載します。必ず確認するよう にしてください。